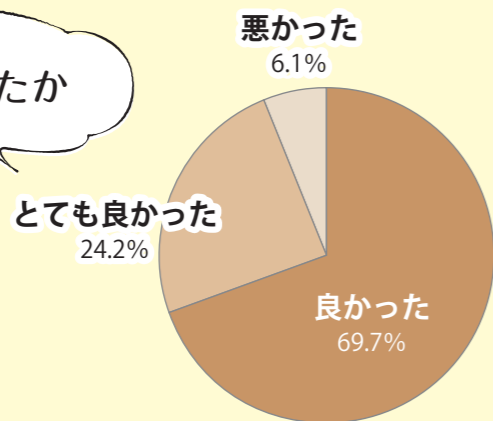


8/3~9に開催された

「市民の声を聴く会」には

多数のご参加をありがとうございました。

参加してどうでしたか



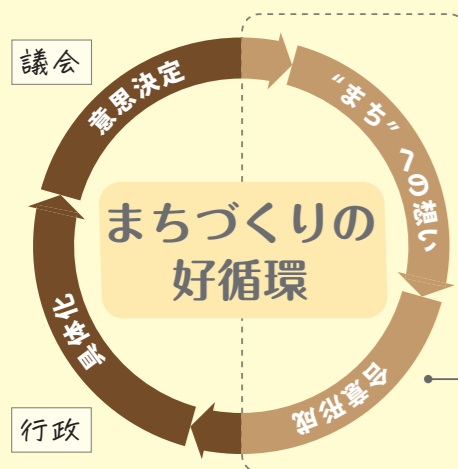
参加者数

パロー文化ホール	24人
笠原公民館	8人
根本交流センター	20人
産業文化センター	40人

本庁舎移転は一旦凍結

アンケート結果を踏まえ自民クラブ、公明党、立憲フォーラムたじみの三会派で協議した結果、本庁舎移転は市民の理解を十分には得られていないため、時期尚早であるとの結論に至りました。多治見市議会においても、令和2年9月の本会議で移転議案は審議未了廃案となりました。今後は、市民の皆さまと一緒に議会で行政が議論していきます。

今後の進め方について



8月3日～9日に開催された「市民の声を聴く会」には多数のご参加をいただきありがとうございました。開催後のアンケートでは、93.9%の参加者が「良かった」もしくは「とても良かった」と回答しています。

また、今後とも市民の声を聴く機会を設けて欲しいというご意見もいただいています。本庁舎の建替え自体は老朽

化の観点からも避けられない問題です。移転の是非は別として、三会派では引き続きワークショップ等を開催して積極的にご意見を伺いたいと思います。

まだ、ここが十分ではありません。皆さんの声を聴かせてください。

市民に

しっかり 聞いてみました

新本庁舎建設に関する

市民の声を聴く会&市民意識調査の報告書

本庁舎移転問題を巡って、自民クラブ・公明党・立憲フォーラムたじみの三会派は合同で「市民の声を聴く会」& Webアンケートを実施しました。多くの市民の皆さまにご参加いただいた結果は議会での議論に役立たせていただきました。本稿では調査結果の詳細と、議会での議論を報告したいと思います。